



同時多項目アレルゲン
特異的 IgE 測定法
マストV
マストイムノシステムズV

アレルギーの
スクリーニング検査

気づいていない**アレルギー**を知り
前向きな気持ちで、日々の暮らしを向上

一度に**36項目(48種類*)**のアレルゲン特異的IgEを測定

検体量は従来品と同じ**0.5mL**

保険診療に加えて**健診領域**にも貢献

*単一項目として30項目、ミックス項目として6項目(18種類)で構成されています。
ミックス項目は複数のアレルゲンの混合物で、各構成アレルゲンについては各々の結果が出る訳ではありません(測定項目としては裏面を参照)



食物アレルギー 22項目(24種類)

- 1 ミルク*
- 2 コムギ*
- 3 卵白*
- 4 オボムコイド
- 5 ゴマ
- 6 ソバ*
- 7 ダイズ
- 8 コメ
- 9 ピーナッツ*

木の実ミックス

- 10 ヘーゼルナッツ
- 11 アーモンド
- 12 クルミ
- 13 サバ
- 14 マグロ
- 15 サケ
- 16 エビ*
- 17 カニ*
- 18 豚肉
- 19 牛肉
- 20 鶏肉
- 21 トマト
- 22 モモ
- 23 キウイ
- 24 バナナ

ミックスアレルギーを含め22項目(24種類)のアレルギー特異的IgEを測定できます。特定原材料の7品目*も測定できます。



花粉アレルギー 7項目(13種類)

- 1 スギ
- 2 ヒノキ
- 3 ハンノキ
- 4 シラカンバ
- 5 ヨモギ

イネ科ミックス

- 6 オオアワガエリ
- 7 カモガヤ
- 8 ナガハグサ
- 9 ハルガヤ
- 10 ギョウギシバ

ブタクサミックス

- 11 ブタクサ
- 12 オオブタクサ
- 13 ブタクサモドキ

近年、PFAS（花粉・食物アレルギー症候群）の患者さんが増加しています。ミックスアレルギーを含めた7項目(13種類)のアレルギー特異的IgEを、食物アレルギーと共に一度で測定することができます。

ミックス項目は該当するアレルギーの混合物です。
各構成アレルギーの鑑別診断が必要な場合は単項目検査の実施を推奨します。

測定クラス クラス分類は7クラスとなります。

判定基準

判定	陰性		陽性				
	陰性	疑陽性	2	3	4	5	6
クラス	0	1	2	3	4	5	6
測定値(ルミカウント)	0~1.39	1.40~2.77	2.78~13.4	13.5~58.0	58.1~119	120~159	160以上



その他アレルギー 7項目(11種類)

- 1 ハウスダストI

ダニミックス

- 2 コナヒョウヒダニ
- 3 ヤケヒョウヒダニ

イヌ・ネコ皮膚ミックス

- 4 イヌ皮膚
- 5 ネコ皮膚
- 6 アスペルギルス
- 7 カンジダ

カビミックス

- 8 アルテルナリア
- 9 ペニシリウム
- 10 クラドスポリウム
- 11 ラテックス

ハウスダスト、ダニ、イヌ、ネコなど環境アレルギー、カビ類のほか、ラテックスも測定することができます。